取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 414 54 522 411 55 522 386 52 522 361 53	13011

1. 取扱説明書

ガス給湯暖房機

保証書付

取扱説明書

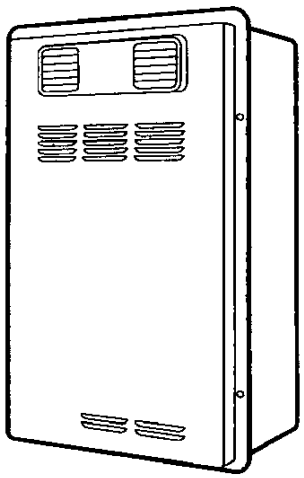
機種名(屋外設置型) **DD-360RFA-W**　　機種名(屋内設置型) **DD-360FFA-W**

このたびはガス給湯暖房機をお買い上げくださいましてありがとうございました。

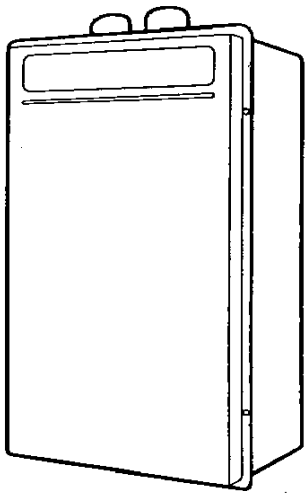
●お使いになる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくお使いください。

●この取扱説明書の㉑～㉒ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ大切に保存してください。

屋外設置型	
形式名	GS-R360D-D



屋内設置型	
形式名	GS-F360D-D



目次

	ページ		ページ
●特長	1	●凍結による故障をふせぐために	14
●各部の名称とはたらき	2	●点検・手入れ	16
●必ずお守りください	5	●故障・異常の見分け方と処置方法	17
●ご使用前に	7	●仕様	18
●給湯の使いかた	8	●長期間使用しない場合	19
●暖房の使いかた	11	●アフターサービス	19
●暖房水の補給について	13	●保証書	21

TOKYO GAS

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 522 522 522	4154 1155 8152 6153	13021

特長

特長

60℃の定温出湯

◉比例制御により、水圧変動に対しても能力範囲内では、約60℃の湯温が得られます。

大能力給湯

◉同時使用にも影響が少なく、浴槽へのお湯はり時間も短くてすむ給湯能力24号

暖房水自動補給

◉暖房水が不足した時、自動的に補給します。

マルチ暖房機能

◉高温(80℃)と低温(60℃)の2系統暖房ができます。

◉ソフト床暖房から温水エアコンまで幅広くご利用いただけます。

簡単操作

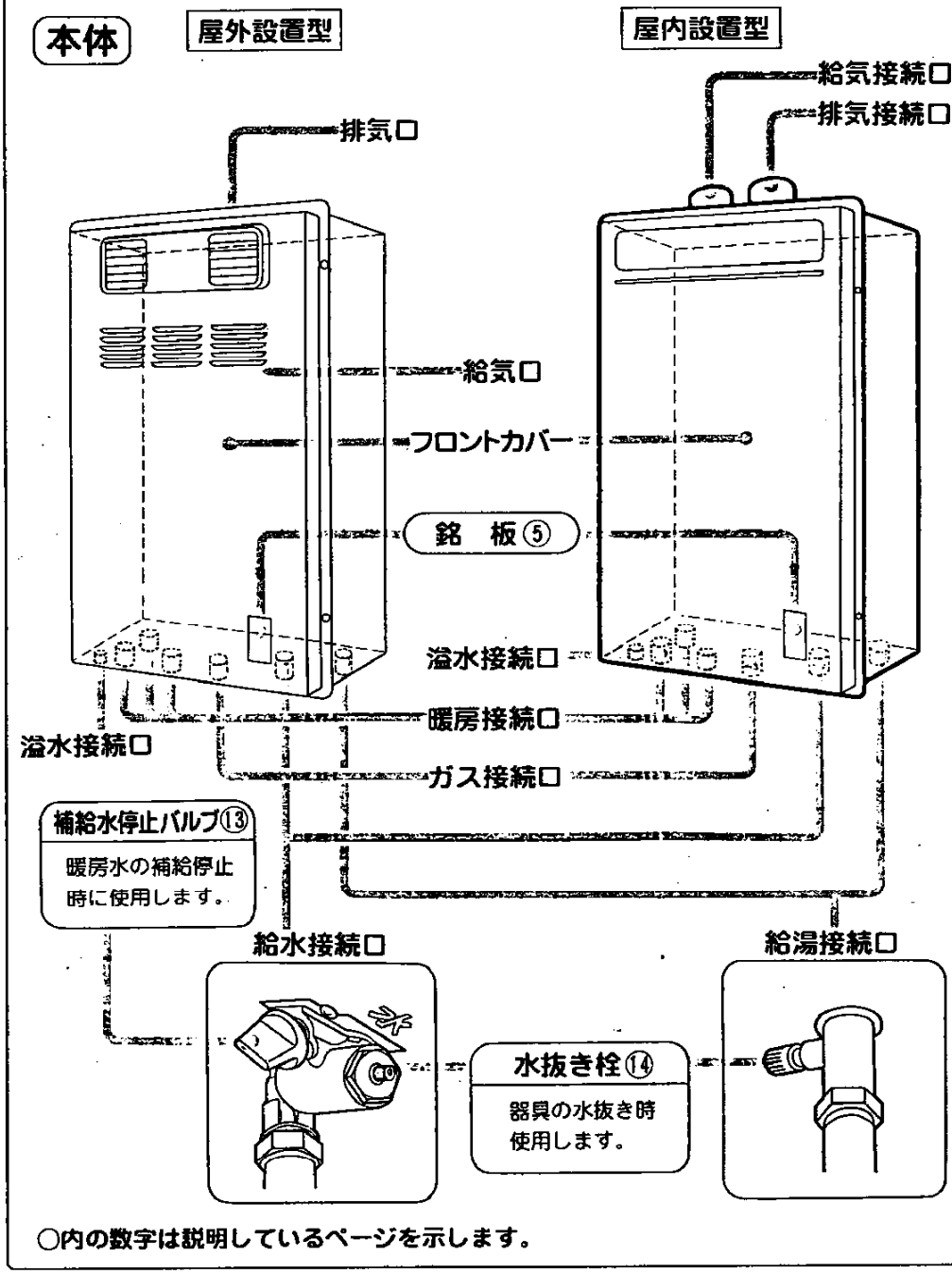
◉給湯は、メーンリモコンのスイッチを操作するだけで簡単に自動運転できます。

◉暖房は、お部屋の放熱器の運転スイッチを入れるだけで、自動的に運転をします。

①

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 41 54 522 11 55 522 18 52 522 16 53	13031

各部の名称とはたらき



取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 41541 522 41554 522 41552 522 61553	13041

各部の名称とはたらき

メーンリモコン

○内の数字は説明しているページを示します。
※各スイッチは、スイッチのすぐ上のランプ(緑)点灯で「入」、消灯で「切」です。

暖房中ランプ(緑色)⑪

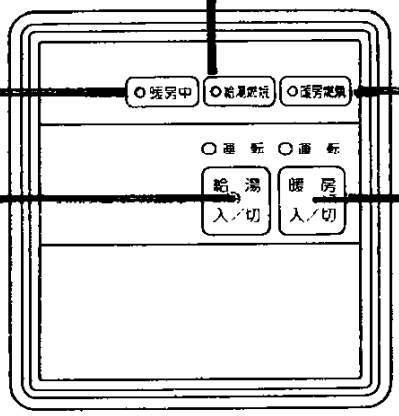
暖房運転中は点灯します。
暖房スイッチを使用しないで暖房した時も点灯します。

給湯燃焼ランプ(赤色)⑧

給湯のバーナが燃焼しているとき点灯します。
給湯中に失火すると点滅します。
この場合は給湯スイッチをいったん「切」にし再度「入」にしてください。

暖房燃焼ランプ(赤色)⑪

暖房のバーナが燃焼しているとき点灯します。
燃焼ランプが点滅しているときは、再操作してください。



給湯スイッチ⑧

給湯を使用するとき、「入」にしてください。
点火・消火は給湯栓の開閉で行なってください。

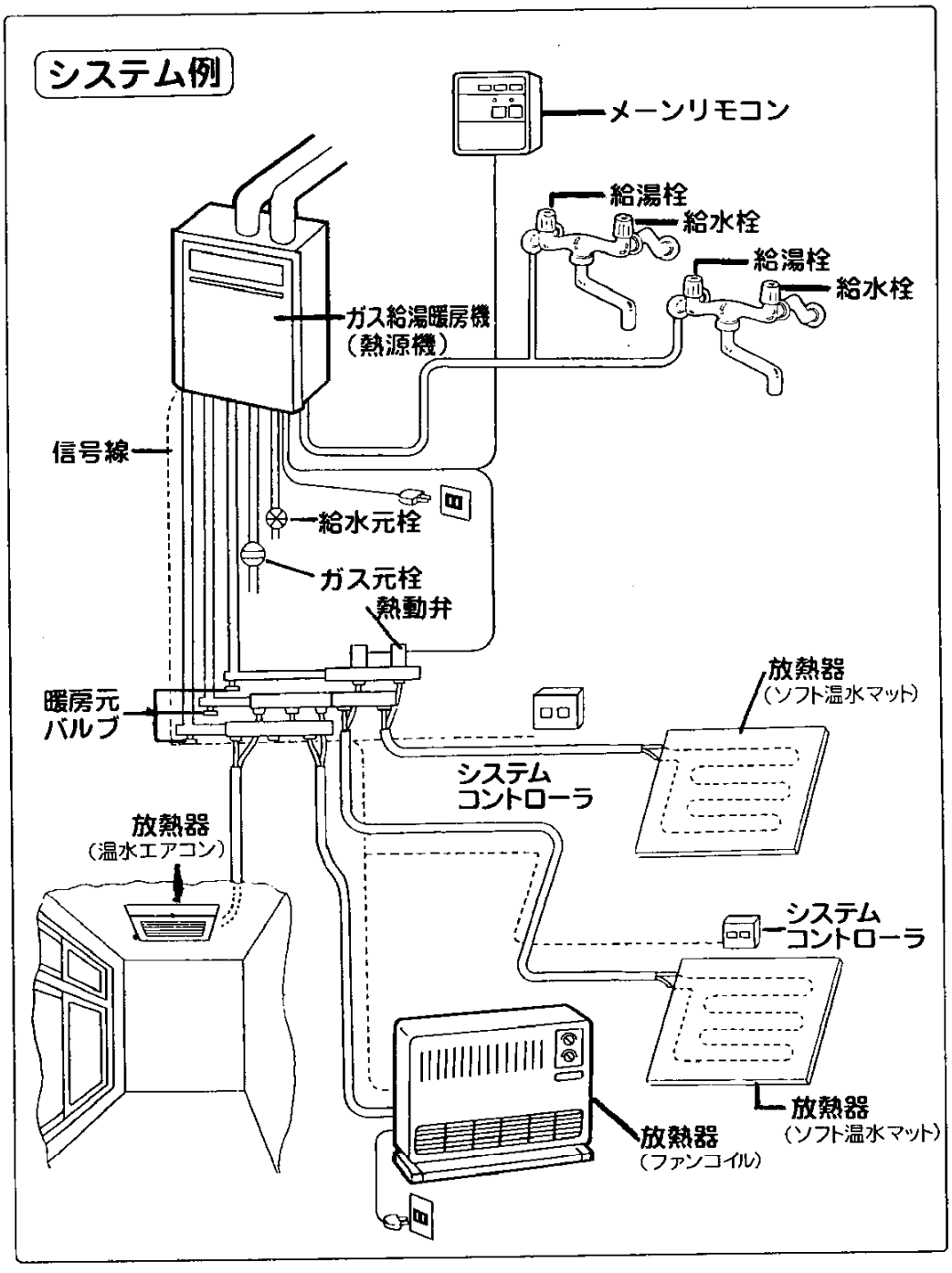
暖房スイッチ⑪

このスイッチを「入」で使用する場合	このスイッチを「切」で使用する場合
暖房する時このスイッチを「入」にしてください。 次に暖房する部屋の放熱器のスイッチを「入」にしてください。	このスイッチは「切」のままにしておいてください。 暖房する部屋の放熱器のスイッチだけを「入」にしてください

③

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 522 522 522	4154 1155 8152 6153	13051

各部の名称とはたらき



取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 4154 522 1155 522 8152 522 6153	1306 1

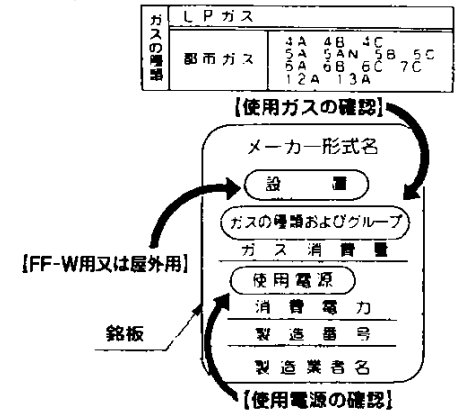
必ずお守りください

必ずお守りください

据えつけるときに

●ガスの種類を確かめて

給湯暖房機(以下熱源機という)フロントカバーの銘板に表示してあるガス以外では使用しないでください。



●使用電源を確かめて

AC100V用です。
銘板に表示してある電源と、お宅の電源が一致しているか確かめてください。

●用途について

給湯と暖房がおのおの独立して、お使いいただけます。
④ページに示すシステム例に準じた用途で使用してください。

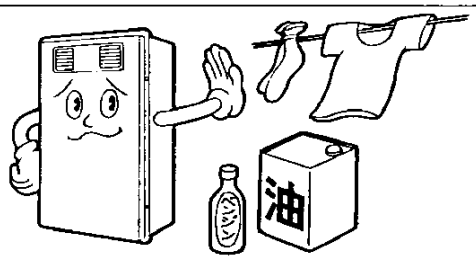
●補助具は附属品・指定品で

標準附属品・指定の別売部品以外の補助具は、使用しないでください。

●据えつけには設置工事・附帯工事が必要

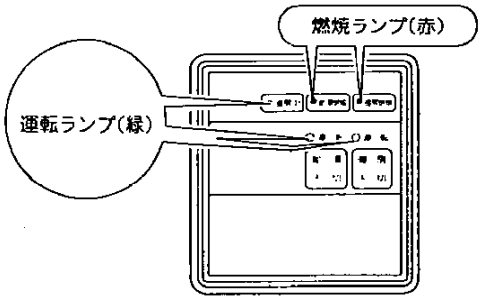
お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に依頼し、安全な場所に正しく設置してください。

●燃えやすいものをそばに置かないで



●ときどきメーンリモコンのランプを確かめて

使用中の点火、使用後の消火を、燃焼ランプ(赤色)の点灯・消灯で確かめてください。



⑤

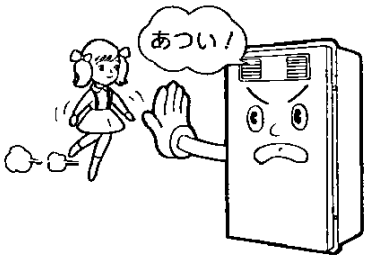
取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 411 554 522 411 552 522 811 523 522 611 533	13071

必ずお守りください

お使いいただくときに

●やけどに気をつけて

使用中や使用直後は、排気口やその周辺はあつくなっていますので、ふれないでください。



●たまっていた水は飲まないで

熱源機内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

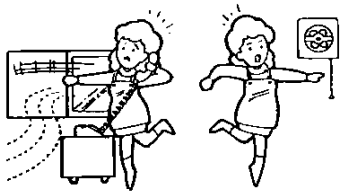
●冬期は電源プラグを抜かないで、ガス元栓も閉めないで

気温が下がると、自動的に凍結防止運転を行ないますので、電源プラグを抜いたりガス元栓を閉めたりしないでください。

アクシデント

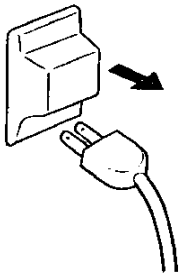
●ガス漏れに気づいたら

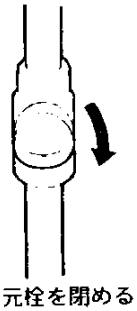
ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用を中止し、ガス元栓を閉め、お買い上げの販売店か、ガス会社へ連絡してください。
万一ガスが漏れたときは、換気扇などの電気スイッチの「入・切」や、マッチ・ライター等の使用は絶対にしないでください。
爆発事故を起こすことがあります。



●使用中異常が起きたら

使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災などの場合、すぐ使用を中止してください。


電源プラグを抜く


ガス元栓を閉める

⑥

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 522 522 522	4154 1155 8152 6153	13081

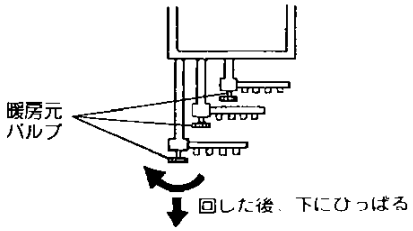
ご使用前に

ご使用前に

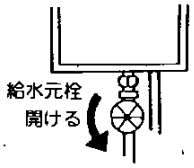
使用前の準備と確認(器具の使用前に次のことを確かめてください。)

- **器具の周辺には、紙・プラスチック・油など燃えやすい物がおかれていないか確かめる**

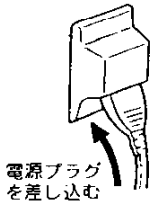
- **暖房元バルブが全開になっていることを確かめる**



- **給水元栓が全開になっていることを確かめる**



- **熱源機の電源プラグをコンセントに差し込む**



- **ガス元栓を全開にする**

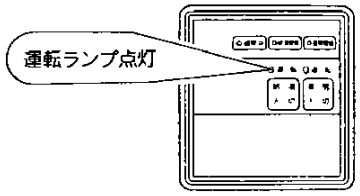
⑦

給湯の使いかた

1 使う前に

メーンリモコンの給湯スイッチを「入」にする

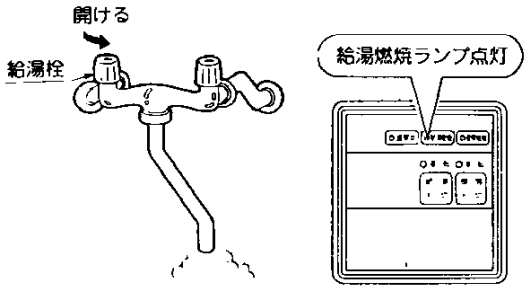
給湯側の運転ランプ(緑色)が点灯します。



2 運転

給湯栓を開ける

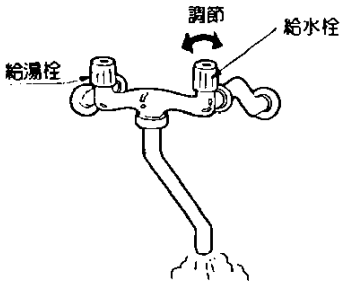
点火し、給湯燃焼ランプ(赤色)が点灯します。



3 温度調節

給湯栓・給水栓で温度調節をする

熱源機は60℃の湯がでるよう調節してあります。お好みのお湯がほしいときは、給湯栓・給水栓で調節してください。

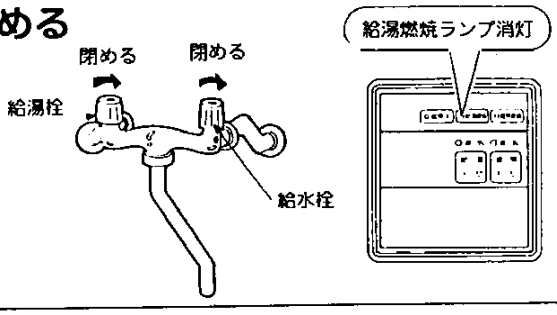


4 停止

給湯栓・給水栓を閉める

消火し、給湯燃焼ランプ(赤色)が消灯します。

長時間使用しない場合はメーンリモコンの給湯スイッチを「切」にしてください。



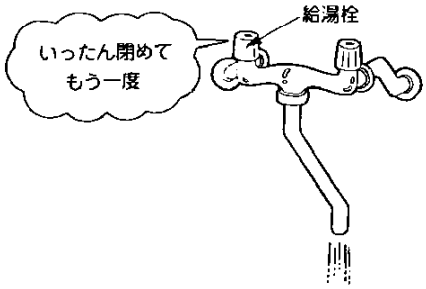
⑧

給湯の使いかた

お使いのときの注意

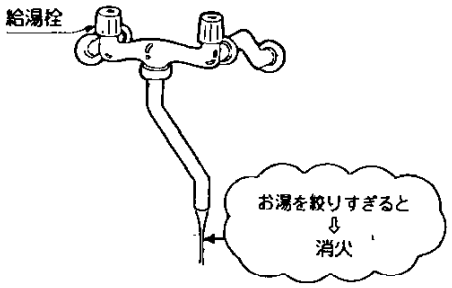
●お湯が出ないときは再操作を

再操作しても、お湯が出ないときは、サービスを依頼してください。



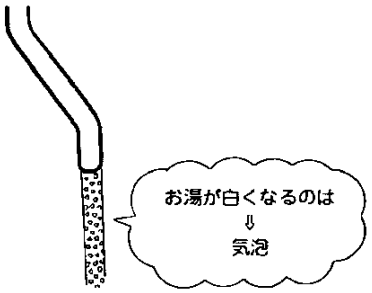
●給湯栓は絞りすぎないで

給湯栓を絞りすぎますと、消火します。



●お湯が白くなるのは?

お湯が白くなることがありますが、これは、水の中の空気が分離して、気泡となったものですから心配いりません。



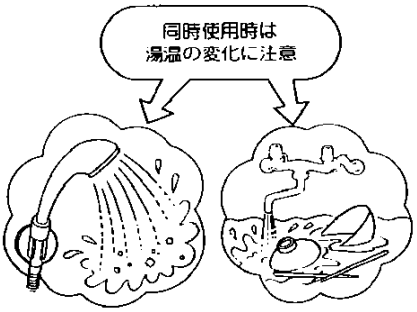
●シャワーを使用する前には湯温を確かめて

給湯の使いかた

お使いのときの注意

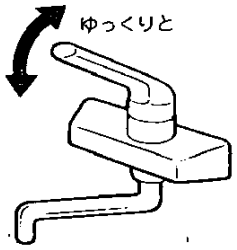
●2箇所使用するときは湯温の変化に気をつけて

2箇所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
シャワー使用中は、特に注意してください。



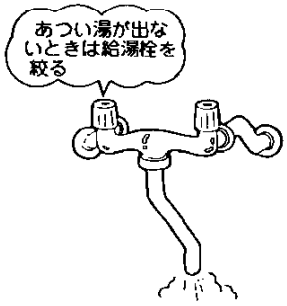
●給湯栓はゆっくり操作で

給湯栓(特にシングルレバー式)は急に閉めると、音がすることがあります。
(これは水撃作用(ウォーターハンマ)によるもので故障ではありませんが、器具の寿命を短かくすることがあります。ゆっくり操作をしてください。)



●あつい湯が出ないときは湯量を絞って

冬期水温が低くなりますと、湯量が多い場合には、あつい湯が出ないことがあります。
このような場合には、湯量を絞ってお使いください。



停電・断水・ガスの供給が停止したとき(給湯時)

停電時 …… 運転は停止し、全てのランプが消灯します。再通電後、(8ページ「給湯の使いかた」の操作が必要ですので、給湯栓は閉めてください。

断水時 …… 運転は停止しますが、再通水すると自動的に点火しますので給湯栓を閉めてください。

ガスの供給が停止した時 …運転は停止し、給湯燃焼ランプ(赤)が点滅します。ガスの供給が再開されても運転はしません。ガスの供給が再開されるまで給湯栓を閉めてください。

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 4154 522 4155 522 4152 522 4153	13121

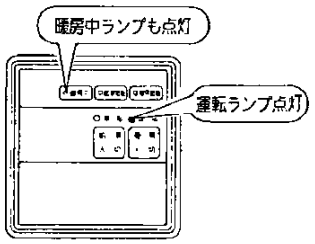
暖房の使いかた

暖房の使いかた

1 使う前に

メーンリモコンの暖房スイッチを「入」にする

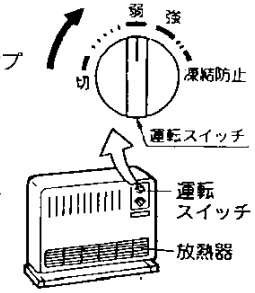
- 暖房側の運転ランプ(緑色)および暖房中ランプ(緑)が点灯します。
- 「切」のままで使用する場合もありますので、施工者の使用説明を受けて下さい。

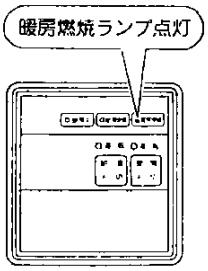


2 運転

●放熱器の運転スイッチを入れる

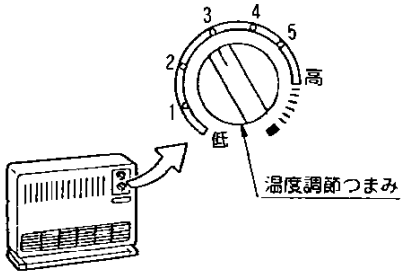
- 暖房を開始します。
- 燃焼中はメーンリモコンの暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。
- 暖房燃焼ランプは、室温により点灯↔消灯を繰り返します。





3 温度調節

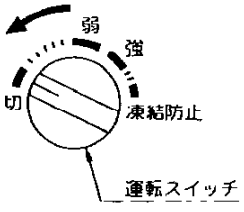
●室温の調節は放熱器の温度調節つまみで行う

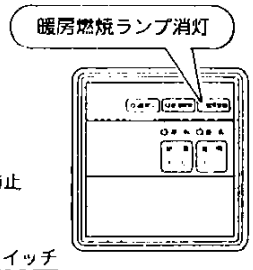


4 停止

●メーンリモコンの暖房スイッチおよび、放熱器の運転スイッチを「切」にする

- 自動的に暖房を停止します。
- 暖房燃焼ランプ(赤)が消灯します。
- メーンリモコンの暖房スイッチを「切」で使用した場合は、放熱器の運転スイッチのみ「切」にしてください。





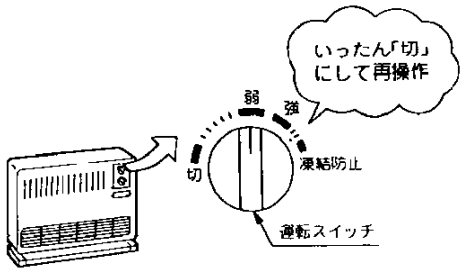
⑪

暖房の使いかた

お使いのときの注意

●点火しないときは再操作を

●再操作しても点火しないときは、サービスを依頼してください。

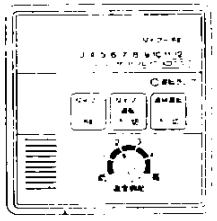


●放熱器およびシステムコントローラの説明書も合せてよく読んで

放熱器には、いろいろの種類があります。それぞれの説明書に従って操作してください。

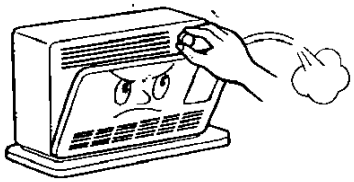
システムコントローラ使用の場合はその説明書をよくお読みください。

(システムコントローラ)



●放熱器の空気抜き栓は開けないで

空気抜き栓を開けると、暖房配管に空気が入り、運転できなくなります。



停電・断水・ガスの供給が停止した時(暖房時)

停電時 …… 運転は停止します。再通電すると運転を再開する放熱器と再開しない放熱器があります。ご使用の放熱器の説明書をよくお読みください。
また、停電中は念のため放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

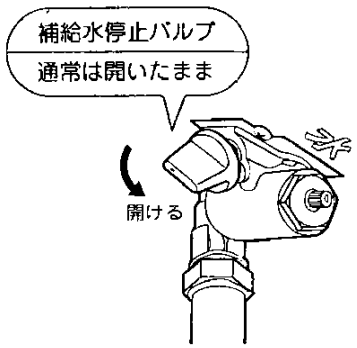
断水時 …… そのまま使用できますが、暖房水が不足してくると、安全装置が作動し運転を停止します。通水後13ページ 再使用方法 の操作をしてください。

ガスの供給が停止した時 …… 運転は停止し、暖房燃焼ランプ(赤)が点滅します。ガスの供給が再開されても運転はしません。いったんメーンリモコンの暖房スイッチを「切」にし、ガスの供給が再開された後、メーンリモコンの暖房スイッチを「入」にしてください。

暖房水の補給について

●暖房水は自動補給

- 暖房水は蒸発などにより減少します。
- 熱源機の暖房水が不足しますと、暖房水は自動的に補給されます。熱源機右下の補給水停止バルブは、開いたままにしておいてください。

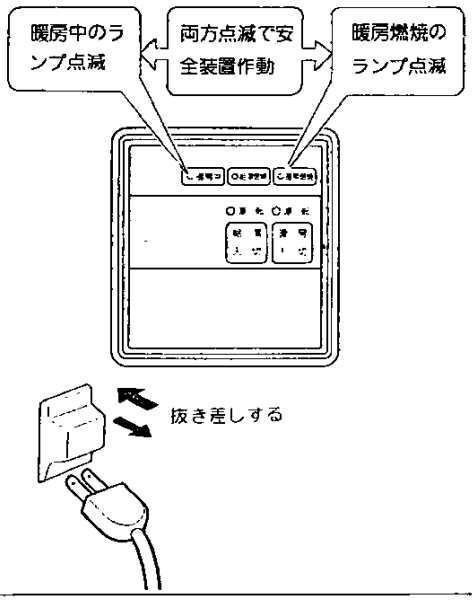


●断水の時

- 断水の時、暖房水が不足しますと、安全装置が働き、通水しても、暖房が使用できません。
- このような場合、暖房中ランプ(緑)と燃焼ランプ(赤)が同時に点滅します。
- 暖房中ランプ(緑)と燃焼ランプ(赤)が同時に点滅している時は、通水後、下記の操作をしてください。

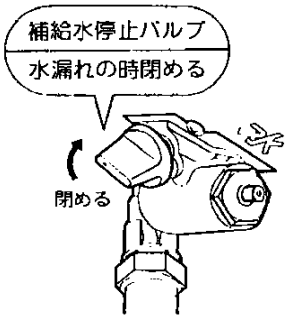
再使用方法

- 熱源機の電源プラグを抜き差ししてください。これで再使用できます。



●暖房水補給停止

- 万一、熱源機や放熱器から水が漏れたときには、補給水停止バルブで暖房水の補給を停止し、すぐ使用を中止してください。

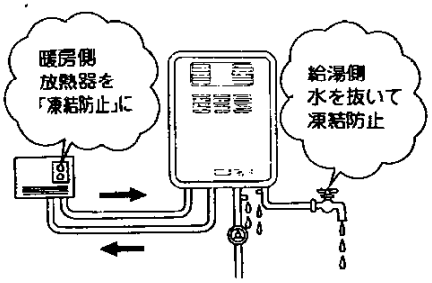


⑬

凍結による故障をふせぐために

●寒波がきたら凍結に注意（電源プラグは抜かないで）

冬期は急な寒波のために、熱源機および給湯・暖房配管内の水が凍結し、破損する場合があります。熱源機の凍結防止運転のため、電源プラグは抜かないでください。



●凍結防止操作は給湯側、暖房側、の２つ必要

この熱源機は、給湯用と暖房用の２つの熱交換器を内蔵しています。
凍結防止操作は給湯側、暖房側、について行なってください。

凍結防止のしかた（給湯側）

- 通常は凍結防止ヒータが作動し凍結防止運転を行います。
- 長期不在の場合、低温注意報が出た場合、念のため下記の手順で水抜きをしてください。

水抜きのしかた

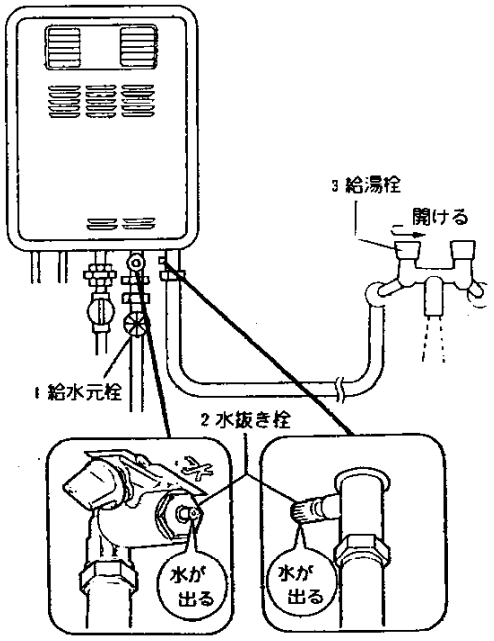
❶給水元栓を閉める

❷水抜き栓を開ける（２本）

水抜き栓から水がでます。
こぼさないように洗面器等で受けてください。

❸すべての給湯栓を全開にする

- ②水抜き栓と、③給湯栓から水が抜けるのを確かめてください。
- 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。



取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 522 522 522	4155 1155 8155 6155	4 5 2 3	13161

凍結による故障をふせぐために

凍結防止のしかた

再使用のしかた

❶水抜き栓(2本)を閉める

❷給水元栓を開け、すべての給湯栓から水が出るのを確かめる

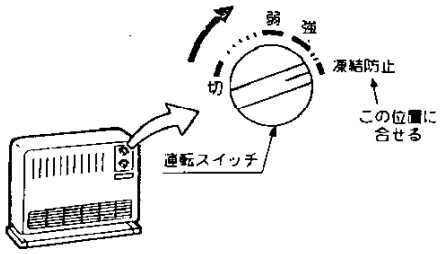
❸給湯栓を閉める

使用するときは⑧～⑩ページの「給湯の使いかた」に従ってください。

凍結防止のしかた(暖房側)

放熱器の運転スイッチを「凍結防止」に合せる

放熱器は、種類によって凍結防止運転の方法が異なります。それぞれの説明書をお読みください。



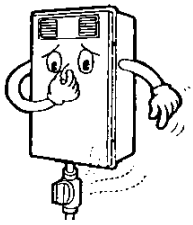
凍結したときの処置

- 凍結した場合は、使用しないでください。
  凍結したままお使いになると、熱源機や配管が破損することがあります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないか確かめて使用してください。
- 熱源機や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

点検・手入れ

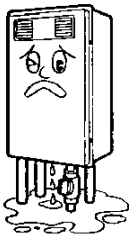
●ガス臭くありませんか？

●ガス臭いときは、すぐ使用を中止し、ガス元栓を閉め、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。



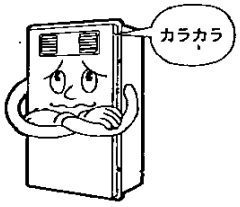
●水漏れはありませんか？

●水漏れしているときは、すぐ使用を中止し、給水元栓、ガス元栓を閉め、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。



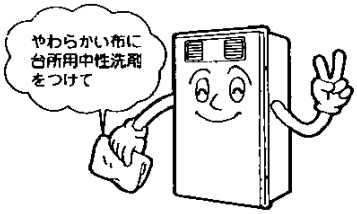
●異常音はありませんか？

●異常音のときは、すぐ使用を中止し、ガス元栓を閉め、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。



●熱源機は汚れていませんか？

●お手入れは、ガス元栓を閉め、熱源機が冷えてから行なってください。



故障・異常の見分け方と処置方法

故障・異常の見分け方と処置方法

● 使用中にふだんと違った状態になったときや、不具合が生じたときは下記の処置を行ない、それでも直らないときは、ただちに使用を中止してお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

現象／原因	寒い日に排気口から湯気が出る	湯が出ない	あつい湯が出ない	湯温が変化する	給湯燃焼ランプが点滅する	運転ランプと燃焼ランプが点滅する	暖房燃焼ランプが点灯しない	暖房がきかない、またはきがおそい	暖房燃焼ランプが点滅する	処置方法	参照ページ
電源プラグがコンセントから外れている	異常ではありません	●					●			電源プラグをコンセントに差し込む	7
ガス元栓の開き不十分			●		●		●	●	●	ガス元栓を全開にする	7
配管内に空気が残っている		●			●		●		●	点火操作を繰り返す	8・11
ガス圧が適切でない			●		●		●	●	●	他の器具も同様の場合は点検を依頼する(他に原因がないとき)	—
給水元栓の開き不十分		●		●						給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする	7
水圧が適切でない 低い		●		●						点検を依頼する(他に原因がないとき)	—
凍結している		●			●					解凍するまで使用を中止する	15
混合水栓の目詰り		●	●	●						点検を依頼する	—
給湯栓の開き不足			●	●						給湯栓を全開にする	9
ストレーナごみ詰り		●								点検を依頼する	—
安全装置が作動						●		●	●	電源プラグを抜き差しする	13
放熱器の故障							●	●		点検を依頼する	—

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	5222 5222 5222 5222	4154 1155 8152 6153	13	19	1

仕様

仕様

仕様表

形式名		GS-R360D-D			GS-F360D-D		
機種名		DD-360RFA-W			DD-360FFA-W		
本体寸法(mm)	幅	480	奥行	300	高さ	750	
メーンリモコン寸法(mm)	幅	116	奥行	23.5	高さ	120	
種類	給湯方式	先止め式					
	暖房方式	温水循環式					
	給排気方式	強制排気式			強制給排気式		
設置方式		屋外設置(壁掛、据置)			屋内設置(壁掛、据置)		
標準熱効率		[暖房]標準時82%、1,000kcal/h時75% [給湯]全出力時80%					
点火方式		高圧連続火花放電(メーンバーナダイレクト点火方式)－給湯、暖房共					
最低作動流量		給湯2ℓ/min 暖房0ℓ/min					
暖房温水温度制御		比例制御＋ON-OFF制御					
循環温水設定温度		比例制御:80℃一定 ON-OFF制御:OFF88℃-ON70℃					
暖房ポンプ能力		機外揚程4mH2O(at 9ℓ/min)…高側 5mH2O(at 6ℓ/min)…低側					
膨張タンク有効容量		0.8ℓ					
水路構成		2缶2水路方式(給湯、暖房同時使用可能)					
給湯量		水圧1kg/cm²時 14ℓ/min(14ℓ/minハイカットガバナー内蔵)					
給湯湯温制御		比例制御、湯温は60℃一定					
使用電源		単相AC100V 50/60Hz					
標準消費電力		170/220W			180/230W		
安全装置	暖房	空だき防止装置、立消え安全装置、空だき安全装置					
	給湯	空だき防止装置、立消え安全装置、空だき安全装置、過圧防止安全装置					
	共用	過熱防止装置、過電流防止装置、漏電安全装置					
重量	(kg)	本体45 運転時50 梱包50					
接続口径	ガス	R¾(PT¾)					
	給水湯	G¾(PF¾)					
	暖房	G¾(PF¾)					
	溢水	R½(PT½)					
	電線管	CTC31(C31)					
標準附属品		メーンリモコン、給湯ソルダー継手(2個)					
別売部品		ヘッダーユニット、据置台、壁掛金具、壁掛カバー、特殊給排気アダプタ(RF専用)、給排気筒トップ(FF専用)					

※本仕様は、改良のため予告なしに変更することがあります。

⑱

仕様

仕様表

形式名	ガス種		ガス消費量(kcal/h) 給湯・暖房同時使用	ガス消費量(kcal/h) 給湯	ガス消費量(kcal/h) 暖房	給湯能力(出湯量に換算) 25℃上昇	給湯能力(出湯量に換算) 40℃上昇	暖房出力(kcal/h)
GS-R360D-D GS-F360D-D	都市ガス	6B	56,000	45,000	14,600	24ℓ/min相当	15ℓ/min相当	12,000
		13A	59,600	45,000	14,600	24ℓ/min相当	15ℓ/min相当	12,000
		12A	55,500	41,900	13,600	22.4ℓ/min相当	14ℓ/min相当	11,100
		5C	54,900	45,000	14,600	24ℓ/min相当	15ℓ/min相当	12,000
		6C	56,000	45,000	14,600	24ℓ/min相当	15ℓ/min相当	12,000
		7C	57,000	45,000	14,600	24ℓ/min相当	15ℓ/min相当	12,000
	LPガス		4.46kg/h	3.37kg/h	1.09kg/h	21.6ℓ/min相当	13.5ℓ/min相当	10,700

長期間使用しない場合

お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。
特に冬期は凍結による破損防止処理が必要ですので、注意してください。

アフターサービス

サービス(点検・修理)を依頼される前に

●⑰ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てお調べになり、直らないとき、あるいはご不明のときは、ご自分で修理はさらないでお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)へ連絡してください。

連絡していただきたい内容

(1 機種名・形式名(銘板表示の物)・ガスグループ
(2 お客様のご氏名・住所・電話番号・道順
(3 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
(4 器具購入日および訪問ご希望日

アフターサービス

転居される場合

- ガスの種類の異なる地区へ転居される場合は、改造・調整が必要です。
  お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。
- この場合の改造・調整に要する費用は保証期間内であっても有料です。
- 使用ガスグループによっては生産していないものがありますので、改造できない場合があります。

保証書について

- 取扱説明書の㉑～㉒ページが保証書になっています。
- 必ず「お買い上げ日および販売店名」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より２年間です。

保証期間中は

- 保証書の記載内容に従ってお買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)が修理いたします。
  その他の詳細は保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているときは

- お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。
  修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- このガス給湯暖房機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10年です。
  補修用性能部品とは、器具の機能を維持するために必要な部品です。

保守契約制度

- 保守契約制度(有料)に加入していただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店か、ガス会社(ガス供給業者)に相談してください。

連絡先

- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店か、裏表紙へ記載している営業所等へお問合わせください。

⑳

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> 5222 4154 DD-360FFA-W <GS-F360D-D> 5222 1155 DD-360RFA <GS-R360D> 5222 8152 DD-360FFA <GS-F360D> 5222 6153	13221

保証書

保証書

保　証　書

形式名	GS-R360D-D
形式名	GS-F360D-D

機種名 DD-360RFA-W / DD-360FFA-W ガス給湯暖房機

上記器具をお買い上げいただきましてありがとうございます。
この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用として、ご使用になる場合、本証書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間は上記品番の器具をお買い上げの日から2年間とし器具本体を対象とします。

(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。

(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。

(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。
(イ)取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(ハ)火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
(ニ)お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
(ホ)器具に表示してある以外のガスでご使用のため改造される場合。ただし、当社都合の場合はのぞきます。
(ヘ)本証書を紛失された場合。

(5) 無料修理などアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または取扱説明書に記載してあるもよりの東京ガス支社・営業所にお問合せください。

保証責任者 東京ガス株式会社 東京都港区海岸1丁目5番20号
電話 03(433)2111

㉑

保証書

保証書

修理記録

この器具の修理記録は器具本体のフロントカバーの裏に記録します。

お買い上げ日および販売店名

お買い上げ日	平成　　年　　月　　日

販売店名		扱者印
住所		
電話番号		

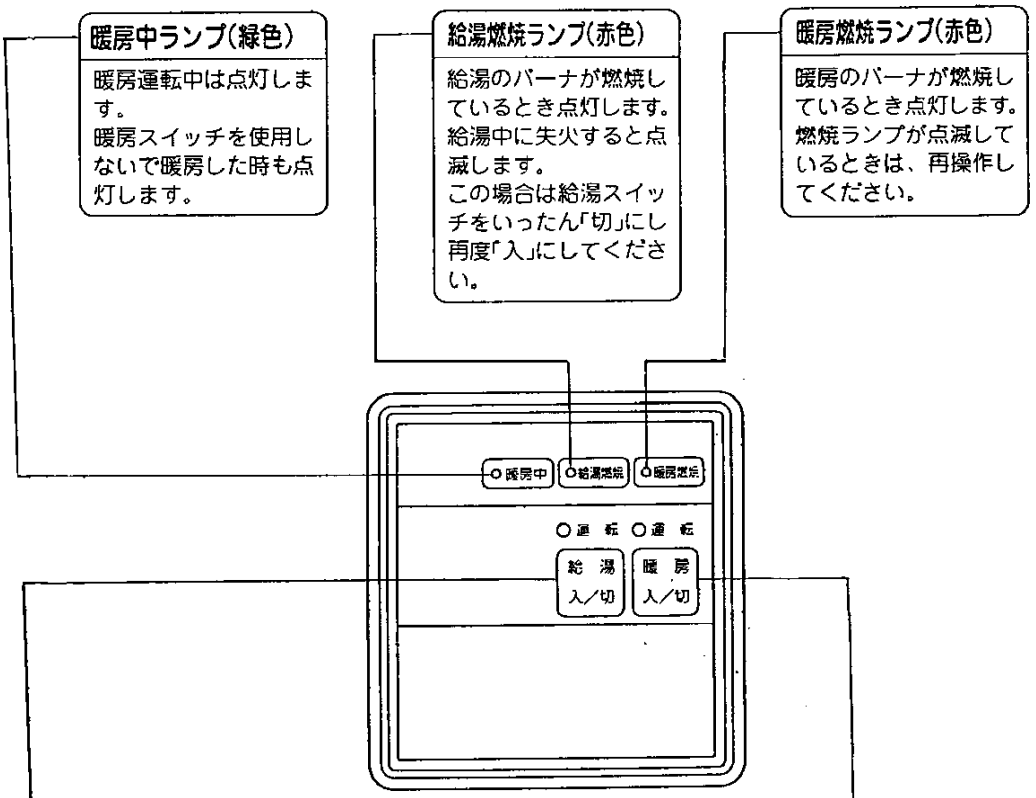
お客様へ

1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 4154 522 4155 522 8152 522 6153	13241

2. メーンリモコン

※各スイッチは、スイッチのすぐ上のランプ(緑)点灯で「入」、消灯で「切」です。

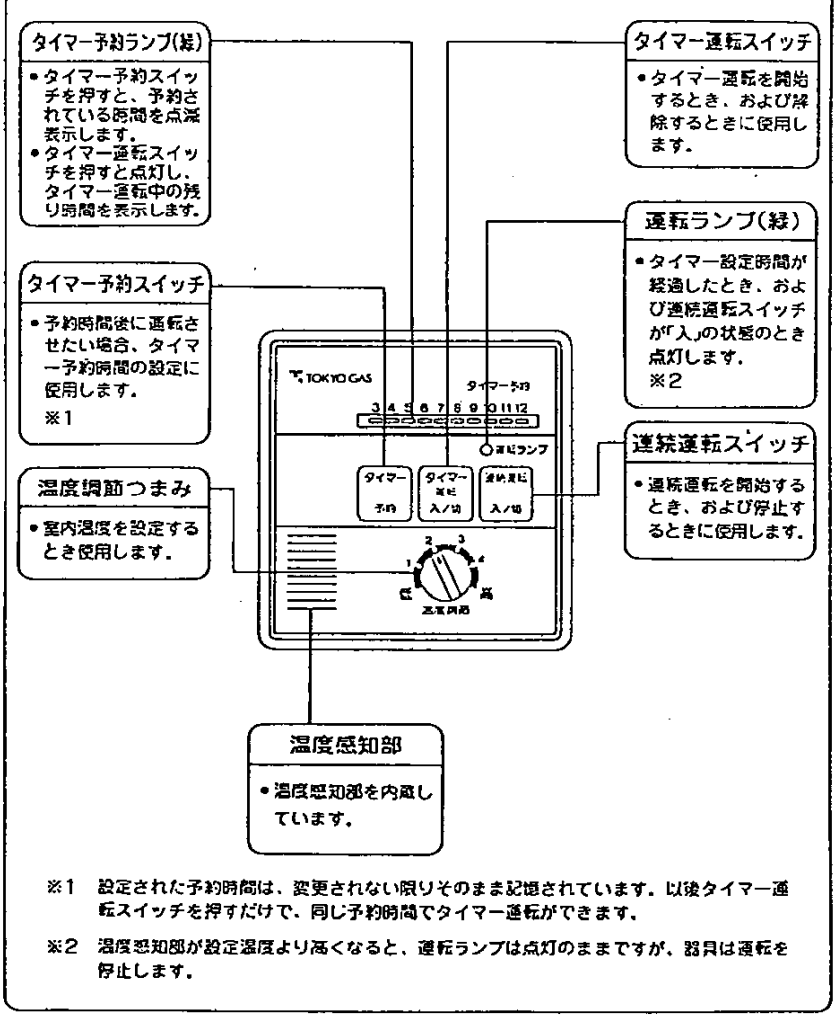


取扱説明書	DD-360RFA-W <GS-R360D-D> DD-360FFA-W <GS-F360D-D> DD-360RFA <GS-R360D> DD-360FFA <GS-F360D>	522 4154 522 1155 522 8152 522 6153	13251

3. システムコントローラ

システムコントローラ取扱説明書

各部の名称



※1 設定された予約時間は、変更されない限りそのまま記憶されています。以後タイマー運転スイッチを押すだけで、同じ予約時間でタイマー運転ができます。

※2 温度感知部が設定温度より高くなると、運転ランプは点灯のままですが、器具は運転を停止します。

給湯暖房用熱源機 **屋内式**

機器コード							増設番号	追し号番	改訂記号
5	2	2	6	1	5	3	1	3	2	6	1

取扱説明書別冊

PL法対応

安全に正しくお使いいただくために

このたびは、給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- 本機器を安全に正しくお使いいただくために、この内容をよくお読みのうえお使いください。
- お読みになったあとは、取扱説明書とともに、いつでも取り出せるところに大切に保存してください。

安全に関する重要な内容ですので
よくお読みのうえ、
必ずお守りください。

販売店の方へ

- 機器の設置が終わり、お客様に使い方を説明されましたら、この説明書をお渡しください。

71564119253000

安全に正しくお使いいただくために

安全に関する重要な内容ですので
よくお読みのうえ、
必ずお守りください。

製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じる場合が想定されることを表しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者等が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

⚠危険

ガス漏れ時は使用厳禁

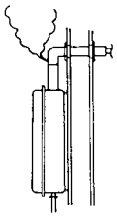
ガス漏れに気付いたときは、①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり、電気器具(特に換気扇など)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しないでください。
炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。

①すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じる。
②窓や戸を開けてガスを外へ出す。
③販売店またはガス事業者に連絡する。

給排気筒の定期点検

給排気筒（給排気筒トップ）が外れたり、つまったり、ふさがっていると排ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。

- 室内に排気が入って一酸化炭素中毒の原因となります。



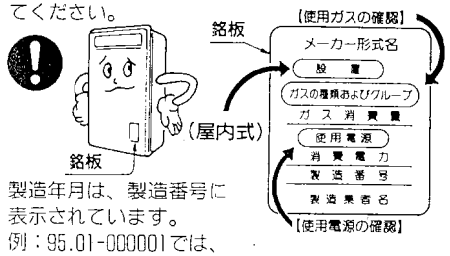
- 排気筒に鳥が巣を作ったり、すすで詰っていませんか？室内に排気が入って一酸化炭素中毒の原因となります。

機器コード	情報番号	通し番号	訂正時期
52261533	13	27	1

⚠ 警告

使用ガス・使用電源について

- 銘板に表示してあるガス（ガスグループ）及び電源（電圧・周波数）を使用してください。
  不完全燃焼及び爆発点火の原因になります。わからない場合は、販売店またはガス事業者に連絡してください。



製造年月は、製造番号に表示されています。
例：95.01-000001では、
「95.01」が1995年1月を表しています。

- 転居されるときにも、ガスの種類・電源の種類が一致していることを、必ず確かめてください。

屋内用ガス機器

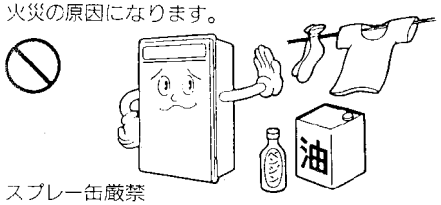
この機器は屋内用ですので屋外に設置しない。風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水侵入により故障の原因となります。

機器の設置（及び付帯工事）について

- 機器の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。
- この機器はアース工事が必要ですので確認してください。

火災予防のために

- 可燃物に注意
  機器及び給排気筒・排気筒（トップを含む）の周囲には燃えやすいものを置かないでください。
  火災の原因になります。



- スプレー缶厳禁
  機器の周囲にスプレー缶を置かないでください。
  熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

- 引火のおそれのあるものの使用禁止
  機器の周辺ではガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを使用しないでください。
  火災の原因になるものがあります。

使用上の注意

- やけどに注意
  シャワー（上がり湯）を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがありますので十分注意してください。
- お湯を止めた後に再使用する時、お湯の量を急に少なくした時、あるいは、万一機器の故障の際には一瞬、熱いお湯が出ることがあります。やけどの防止のために出始めのお湯は手や体にかけないでください。
- シャワー、給湯の使用中は使用者以外はお湯の温度を変更しないでください。
  突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります。

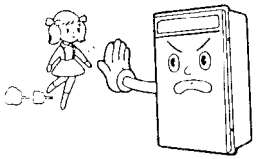
異常時の処置

- 万一異常な燃焼、臭気、異常音が感じられた場合はあわてずに運転を停止して（給水元栓と）ガス栓を閉じて「故障異常の見分け方と処置方法」に従ってください。
- 地震、火災などの緊急の際はあわてずに運転を停止してください。

⚠ 注意

使用上の注意

- 用途について
  給湯・シャワー・暖房以外の用途には使用しないでください。
  思わぬ事故の原因になることがあります。
- やけどに注意
  使用中や使用直後は、給排気筒及び給排気筒トップは高温になっておりますので、手をふれないでください。
  やけどのおそれがあります。

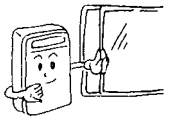


運転停止（消火）時の注意

- 燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。

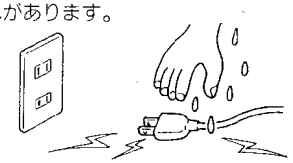
施工上の注意

- 網戸のある窓を開けて使用した場合、風の流れにより網戸を破損することがあります。
  網戸の位置関係に注意してください。

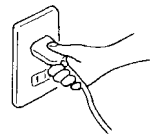


電気事故防止

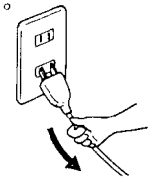
- 濡れた手で電源プラグをさわらないでください。
  感電のおそれがあります。



- 電源プラグの差し込みは確実に行ってください。
  プラグにほこりが付着していたり、差し込みがゆるいと感電や火災の原因になります。

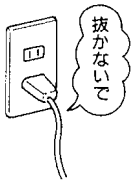


- 電源コードを引っぱってプラグを抜かないでください。
  コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因となることがあります。



凍結予防について

- この機器には、水の凍結による機器の破損を防止するため、「凍結予防機能」が内蔵されています。「凍結予防機能」を行う期間中は、緊急の場合以外は電源プラグを抜かないでください。
  電源プラグを抜いたり、ガス栓を閉めると作動しません。



凍結予防機能は、給水・給湯・ふろの配管・バルブ類は予防できません。
必ず保温材か電気ヒーターを巻くなどの措置をとってください。

設置状態の確認

- 排気筒からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物、植物、ペットなど）を置かないでください。

安全に正しくお使いいただくために

機器コード							機種番号		通し番号		訂正番号
5	2	2	6	1	5	3	1	3	2	8	1

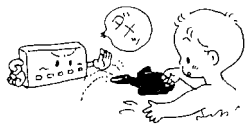
お願い

ガス事故の防止

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。
- 使用後及び、お出かけやおやすみの際には、消火を確認してください。

使用上の注意

- 補助具は、機器用の付属品あるいは指定の物以外は使用しないでください。
- 飲用にお使いのときは
  朝一番などのように長時間使わなかった後、使い始めのぬるいお湯（洗面器一杯程度）は雑用水として使い、その後飲用水としてお使いください。
- 雷時の注意
  雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントより抜いてください。
  この場合は機種によっては、すべての表示が消灯しますので、設定し直してください。
- リモコンの注意
  (1)リモコンは、子どもがいたずらしないように注意してください。
  (2)リモコンには、水をかけないでください。



  (3)リモコンは分解しないでください。

特監法対象機器

この機器の設置工事及び変更工事は、法律「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」に基づいて行い、工事完了後、器体（機器本体）に法定のステッカー（表示ラベル）を張り付けることになっておりますので確認してください。

家庭用以外に使わない

- 本機器は家庭用ですので、業務用には使用しないでください。
  いちじるしく機器の寿命が縮まります。

停電時の使用方法

- 使用中万一停電した場合は、安全に停止します。
  再通電した時はスイッチを入れ直してください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は、万一ガス漏れを防止するためガス栓を閉めておいてください。

冬期の凍結による破損防止について

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。
- 再使用の場合は凍結がとけたあと、すべての給湯栓から水が出るのを確認し、機器及び配管から水漏れのないことを確認してください。

設置状態の確認

- 機器の設置にあたって次の項目をチェックしてください。
  ①機器は水平な所（確実に設置できる所）に設置してあること。
  ②棚の下など落下物の危険の心配がないこと。
  ③カーテンや燃えやすいものがそばにないこと。